

# 産業技術部 平成21年度当初予算のポイント

## ■総括事項

- 産業振興計画の成長戦略(振興施策)等とリンクした取り組みの推進
- 公設試験研究機関の使命を今後とも堅持し成果の見える研究機関として産業振興に貢献する  
(公設試験研究機関の使命) 本県産業を支援する実用・応用技術の開発、生産者や企業が抱える課題解決のための技術支援、政策立案への技術面からの提案

項目	H20当初	H21当初	増減
産業技術部予算	1,028,189千円	860,845千円	167,344千円 (83.7%)
管理運営費(本課事務費含)	314,048千円	313,911千円	137千円 (100.0%)
知的財産活用促進費	15,978千円	16,540千円	562千円 (103.5%)
施設整備費	324,332千円	86,322千円	238,010千円 (26.6%)
(うち重点枠要求)	0千円	40,530千円	40,530千円 ( --- )
試験研究費	373,831千円	444,072千円	70,241千円 (118.8%)
(うち純研究費)	218,820千円	281,223千円	62,403千円 (128.5%)
(うち重点枠要求)	0千円	35,756千円	35,756千円 ( --- )

※ 試験研究費の下段( )は、試験研究費からアウトソーシング、非常勤職員経費を除いた額

※ 施設整備費の大幅な減額は水産試験場の新調査船建造の終了による

## ■5つの基本政策に関する取り組み

- 経済の活性化(産業振興と雇用の創出) ⇄⇄⇄⇄⇄⇄ *産業振興計画 関係施策とのリンク*
  - 各産業分野及び産業間連携テーマで取り上げられた成長戦略に関連する試験研究・技術支援等を経常的に実施。また、新たな取り組みにも対応する。
  - 地域アクションプランなど地域の取り組みに対して、その進展(商圈)段階に応じた機動的できめ細かな技術支援を的確に行う。

- 農業分野 (下表の左欄の項目、右欄の●項目は各産業分野の成長戦略(振興施策)による)

まとまりのある園芸産地づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品目(野菜・花き・果樹)別総合戦略の共有               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 主要品目における高品質・安定多収生産に関する研究開発</li> <li>「日本一のユズ産地の維持・発展に向けた優良種苗供給支援事業」など36課題 [38,583千円]</li> </ul> </li> </ul>
モデル集落営農の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規有望品目の定着等への支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新規有望品目の栽培技術に関する研究開発</li> <li>「アスパラガスの中山間地域への産地拡大に向けた技術支援」など6課題 [6,211千円]</li> </ul> </li> </ul>

地域の特性を生かした農畜産物の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売れる米づくり・「土佐茶」の販売推進・畜産の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 米・茶・畜産物の高品質・安定生産、ブランド化に関する研究開発</li> <li>「土佐ジロー・はちきん地鶏の増羽に対応する効率的なヒナ生産技術の確立」など23課題 [46,513千円]</li> </ul> </li> </ul>
トップランナーを目指した環境保全型農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IPM(総合的病害虫管理)技術の対応品目・対象地域の拡大推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ IPM技術の確立に関する研究開発</li> <li>「土着天敵の温存及び利用技術の開発による総合的害虫管理技術の確立」など13課題 [31,440千円]</li> </ul> </li> </ul>
農産物輸出の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品目の取り組み進度に応じた輸出の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 青果物及び花の輸送包装技術と鮮度保持技術</li> <li>「青果物のスーパー・パーシャル鮮度保持包装技術の開発」など3課題 [12,829千円]</li> </ul> </li> </ul>

2) 林業分野 (下表の左欄の項目、右欄の●項目は各産業分野の成長戦略(振興施策)による)

林業・木材産業の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原木生産の集約化・効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事業体・担い手等の育成や効率的な生産に関する研究開発・支援</li> <li>「採算性を確保できる林業経営システム確立のための調査・提案・実証」など5課題 [5,172千円]</li> </ul> </li> <li>● 販売力の強化 / 製品・品質の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新しい木製品の研究開発や木材乾燥への技術支援</li> <li>「木造住宅商品「れいほくスケルトン」の販路拡大のための性能確立」など5課題 [3,603千円]</li> </ul> </li> </ul>
木質バイオマス利用の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未利用森林資源の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 森林バイオマス利用に関する技術支援</li> <li>「森林バイオマスの低コスト収集・運搬方法の検討・支援」など2課題 [1,068千円]</li> </ul> </li> </ul>
森のものの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特用林産物等の森の恵みを余すことなく活用する <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 特用林産物(キノコ類、シキミ等)の生産に関する研究開発・技術支援</li> <li>「シキミ(仏事用供花)の害虫被害の防除技術確立」など2課題 [675千円]</li> </ul> </li> </ul>

3) 水産業分野 (下表の左欄の項目、右欄の●項目は各産業分野の成長戦略(振興施策)による)

生産量・品揃えの確保 漁獲物の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存漁場等の設備資源の活用や漁業環境を考慮した漁場の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 黒潮牧場や沈設型魚礁による漁場整備、新漁場の開発に関する調査・研究</li> <li>「新調査船による既存沈設魚礁や新漁場等の調査」など2課題 [4,663千円]</li> <li>→ 藻場造成や養殖漁場などの漁業環境の保全等に関する調査・研究</li> <li>「地域が取り組む藻場造成への支援」など5課題 [4,316千円]</li> </ul> </li> <li>● 効果的な栽培漁業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 栽培漁業対象魚種や重要水産物の資源・生態に関する調査・研究</li> <li>「アユ産卵親魚の保護と産卵量の確保のための禁漁期間の見直しへの対応」など11課題 [20,748千円]</li> </ul> </li> </ul>
------------------------	---

高品質な生産物の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鮮度保持等の実践による評価・信頼の獲得と魚価の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 漁獲物の鮮度保持や安全安心な養殖生産に関する研究開発・技術支援 「漁業現場におけるキハダマグロの鮮度管理方法の改善」など6課題 [2,762千円]</li> </ul> </li> </ul>
------------	--

4) 商工業分野 (下表の左欄の項目、右欄の●項目は各産業分野の成長戦略(振興施策)による)

地場企業の競争力強化と産業集積の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地場企業の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 潜在力のある分野や企業への重点的な技術支援・共同研究の推進 「高機能汚泥吸引作業車の開発」など20課題 [40,365千円]</li> <li>→ ものづくり企業を支える高度分析機器の整備(依頼分析や機器の貸出等に対応) 「走査電子顕微鏡」などの整備 [40,530千円]</li> </ul> </li> </ul>
研究開発成果の県内での事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな産業の創出(研究成果や産業間連携に基づく事業化) <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 新たな技術(水処理・自動車部品加飾)の実用化・事業化に向けた研究開発 「3D D転写技術と新しい成型技術による自動車内装材等の製品開発」など7課題 [33,887千円]</li> </ul> </li> </ul>
1.5次製品の販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1.5次製品の生産・加工 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 食品加工や1次産業関連機械等に関する研究開発・技術支援 「県内の特色ある農畜水産物を活用した加工食品の開発」など14課題 [12,238千円]</li> </ul> </li> </ul>
県内産業界が求める人材の育成と確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業人材の育成と確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 基盤技術力強化のための人材の育成支援 「安心・安全な製品開発のための食品加工企業への品質管理等の技術支援」など6課題 [3,320千円]</li> </ul> </li> </ul>

5) 産業振興のツールとなる知的財産の創造、保護及び活用

地場技術・地域資源の再評価と高付加価値化の促進	<p>知財活用モデル支援事業</p> <p>知的財産を活用しようとする意欲のある企業・団体に対し、知財に関するアドバイザーを派遣するなどして、活用の取り組みが進むよう支援をする。 [794千円]</p>
知的財産に対する意識の向上	<p>知財サロンの開催</p> <p>企業、団体、高等教育機関などが、知的財産について情報交換・勉強をする場をつくり、情報交流のネットワークを形成する。 [839千円]</p>
権利化・事業化の支援基盤づくり	<p>市町村・団体向け知財セミナー</p> <p>現場に最も近い市町村や団体の職員に対して、研修を行い、地域の中核的団体の実践的な対応力の向上を図る。 [535千円]</p> <p>知的所有権センターの機能充実</p> <p>特許情報活用支援アドバイザー、特許流通アドバイザー、自治体コーディネーターを配置する知的所有権センターの事業を補助することにより、特許等情報の利活用を推進する。 [4,427千円]</p>

6) 5つの基本政策推進重点枠への提案（産業振興計画・地域A P・「対話と実行」座談会 を踏まえて）

**新** 農商工連携による1.5次産業推進事業 6,314千円(うち重点枠要求 2,744)

高知県内の農水産業者や商工業者と行政・公設試が連携して新たな食品産業を育成する。

本事業では、地域の農畜産物(ミョウガ、唐辛子、高糖度トマト、黒糖、ユズ等各種果実、乳製品など)や水産物(キビナゴ、マグロなど)を活用した食品、アルコール飲料の試作や機能性成分の分析を企業と共同して実施し、地産地消、地産外商に向けた商品を開発する。また、加工関連機械の開発を支援する。

**新** 基盤技術力強化のための人材育成事業 3,320千円(皆増)

産業振興の柱となる業界(食品、機械金属、化学分析関係)に焦点を絞り、将来の技術力を担い活躍する人材を育成する。

**新** 地域特産物のブランド化技術支援事業 26,122千円(皆増)

農林関係部局の成長戦略(振興施策)と連携した技術支援・技術開発を展開し、地域特産物のブランド化等により第一次産業の足腰を強化する。

本事業では、ユズ優良系統穂木の供給体制整備、特産鶏(土佐ジロー、土佐はちきん地鶏)の増羽のための省コスト生産、土佐茶ブランド化のための「仕上げ茶」加工技術、自給飼料による土佐褐毛牛ブランド化、間伐材搬出作業の効率化について開発・支援する。

**新** ものづくり企業を支える高度分析機器整備事業 40,530千円(皆増)

成長が期待される食品分野や県工業会のものづくり企業の高度分析ニーズに応えるため、走査型電子顕微鏡、高速液体クロマトグラフなどの分析装置を整備し、依頼分析や機器貸出等に対応する。